



金剛 一智 (こんごう かずとし)

昭和32年4月6日生まれ(63歳)。榛原榛見が丘在住。京都大学大学院工学研究科を修了後、奈良県に入庁。吉野土木事務所長、まちづくり推進局長、知事特命参与等を歴任。紀伊半島大水害では山崩れの最前線で陣頭指揮を執る。夫婦共働きで二人の子どもを育てた30年前からのイクメン。

金剛一智市長 就任あいさつ

このたび、宇陀市長選挙におきまして、市民の皆さまの力強いご支援とご厚情をいただき、市長の重責を担わせていただくことになりました。使命の大きさ・責任を厳粛に受け止め、宇陀市政発展のため、全力で取り組みまいります。

私が学んだ土木工学は英語では「シビルエンジニアリング」と言います。文字どおり「市民のための工学」「平和のための工学」です。高校生の時に「皆で力を合わせて黙々と社会を支える」その格好良さに憧れてこの道に進んだように思います。その気持ちは今も変わりません。

これからは市長という立場で市民の皆さまの安寧な暮らし、地域の活性化に取り組み、子どもたちの明るい未来のための礎となるよう努めます。

これまで勤務していた奈良県では、社会資本の企画・整備を通して地方創生に携わりました。特に都市計画・まちづくりにおける市民や関係機関との連携・調整の中で行政のマネジメント力も鍛えられたように思います。

平成23年の紀伊半島大水害は、百年に一度という災害で、たくさんの方

山崩れが発生しました。当時現場事務所の所長として最前線で復旧を指揮しました。

ピンチの時にはリーダーの能力・人格など総合力が試されます。所員全員が持ち味を発揮し、チームワークでなんとか頑張ることができました。

また、県のまちづくりの責任者として全国でも先進的な「県と市町村との連携によるまちづくり」を推進しました。宇陀市では平成27年に、県と市内4拠点とのまちづくり連携協定を締結しました。

宇陀市は、県東部の中心都市としての役割が期待されています。大都市圏に近く国土軸に位置する高原都市として全国と競える力があります。人口減少・少子高齢化など厳しい現実には直面していますが、地の利・自然・歴史・文化・産業と宇陀市には多くの宝があります。なにより宇陀を愛して頑張っておられる皆さまがいます。多くの方との良い出会いを自らの財産として大切に育んでいきたいと思えます。

これからのまちづくりは皆さまと一緒に、オール宇陀の底力をどれだけ発揮できるかにかかっています。伸びしろがいっぱいあります。県や国と積極的に連携することで発展の可能性も広がっていきます。わくわくし

ます。

先月の初登庁で、市幹部職員に「きびしい時代、変化を乗り越えるのはリーダーの明るさです」と話しました。中国の故事を引用して、「行動を起こすとき、リーダーに誠実さや正直さから発する明るさがあれば部下は、「なんとかなる、仕事はやりがいがある」と感じて実力以上の力を発揮するものです」と伝えました。うれしいことに最近、職員がずいぶん明るくなったと聞きます。

新型コロナウイルスが市民生活のあらゆるところに影を落としています。今こそ市役所が実力以上の力を発揮すべき時です。力を合わせてこの危機を克服しましょう。

「赤ちゃんから高齢者まで、障がいのある人もない人も、ともに暮らしやすいまちづくり。誰ひとりおいていかないまちづくり」に向かって一つひとつ取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

宇陀市長
金剛一智

6月28日執行

宇陀市長選挙結果

問 選挙管理委員会
〒82-1302/IP ☎88-9068

投票結果

当日有権者数	25,805人
投票者数	16,208人
棄権者数	9,597人
投票率	62.81%

開票結果

投票者総数	16,208票	
うち有効投票	16,021票	
うち無効投票	186票	
持ち帰りその他	1票	
候補者別得票数 (得票順)		
当選	金剛 一智	10,625票
	高見 省次	5,396票

市長あいさつ
市政トピックス
うだちから
まちのわだい
みんなで子育て
病院・ウェルネス
お知らせ
掲示板
うだチャン

宇陀市には誇れる自然や歴史・文化、地域資源など発展の芽がたくさんあります。きびしい時代だからこそ、ビジョンを高く掲げ、まちづくりの現場で培ってきた経験や行動力で、チャンスをつかまえ、スピード感をもって、**希望を持てる新しい宇陀市**の実現に向けて皆さまと力を合わせ全力で行動します。



5 子ども、女性、高齢者が元氣な宇陀市へ！

- ◇子育て世代や女性、高齢者の就業を支援
- ◇安心して子育てしながら働けるまちづくり
- ◇学ぶ意欲、助け合う力、スポーツ、芸術活動など、健やかな「宇陀っ子」の夢づくりを応援
- ◇就学前児童のはぐくみと病児保育の確保
- ◇高齢者が学べる・運動できるプログラムを推進
- ◇子ども・女性を虐待や暴力から守る取り組みを強化。社会的養護の子どもの育ちを支援
- ◇子ども食堂の展開と、多世代交流の場づくり

6 住みやすい、住みたい宇陀市へ！

- ◇「美しい高原都市」のブランド力を磨き、定住移住を促進
- ◇人権を尊重、多世代・多様性共生のまちづくりを推進
- ◇子育て世代が転入したくなる地域づくり
- ◇農山村で安定して働き・住むことができる地域づくり
- ◇「わがまち・ひと」を大切にする市民活動を応援
- ◇暮らしのニーズに応じた多様な移動手段の確保
- ◇空き家・空き店舗の利活用

7 将来に希望が持てる宇陀市へ！

- ◇「チーム宇陀」として未来づくりの力を強化
- ◇新型コロナウイルスや風水害・地震等への危機管理の徹底
- ◇行政を効率化・市民サービスの向上
- ◇財政基盤をバランスよく強化、公正・公平な行政を推進
- ◇公有財産のあり方検討と民間活力の導入で財政健全化
- ◇上下水道・ごみ処理事業を「奈良モデル」導入で効率化

1 経済が活発な宇陀市へ！

- ◇若者、女性、高齢者の働く場を確保
- ◇市役所が地域商社となりトップセールスで「大和高原宇陀ブランド」戦略を展開
- ◇地元企業の育成と企業誘致
- ◇名阪国道アクセス、国道165号の整備
- ◇新しい「宇陀の土地利用計画」を策定し、経済を活性化
- ◇子育てしやすい環境・起業しやすい環境づくり

2 にぎわいのある宇陀市へ！

- ◇誇りある歴史と文化を元手に、にぎわいと交流を創出
- ◇近鉄榛原駅周辺、宇陀松山周辺、菟田野古市場周辺、室生寺門前・室生口大野駅周辺のまちづくり
- ◇地域資源を活かした、医療ツーリズム、スポーツツーリズムを展開。周遊・宿泊滞在型観光の推進
- ◇伊勢街道をテーマにした県東部の観光活性、歴史文化資源による地域再生
- ◇「花の都・宇陀」づくり

3 健康長寿の宇陀市へ！

- ◇市立病院を県東部の中核病院へグレードアップし、面倒見の良い地域医療・介護・福祉・健康づくりの推進
- ◇障がいのある人もない人も、健やかに暮らせるまちづくり
- ◇高度な地域包括ケアシステム、高齢者の快適な生活の確保
- ◇重症心身障がい児（者）の居場所づくり

4 農・林・畜産が元氣な宇陀市へ！

- ◇大和高原宇陀ブランドとして農業・林業・畜産の振興で、美しく元氣な里山創出
- ◇高原農産物の安定生産の推進、「特定農業振興ゾーン」導入で耕作放棄地を解消
- ◇県の森林環境制度を利用して森林の環境維持・災害防止、宇陀の木のブランド化の推進
- ◇宇陀産和牛のブランド化の推進



宇陀市を

✓誇りと活気ある奈良県東部の中心都市
✓爽やかで美しい関西の高原都市
✓農・林・畜産業が元氣な美しい里山
✓宇陀っ子の笑顔あふれる都市へ